

まえがき

北九州市環境局長

久鍋和徳



近年、地球温暖化をはじめとする環境問題は、人類の生存基盤を揺るがす規模にまで深刻化しています。地球環境の保全は、私たちの生活を持続していくために不可欠であり、また、将来の世代へその恩恵を引き継ぐためにも取り組み続けなくてはならない喫緊の課題です。

本市では平成 18 年 7 月に都市の環境負荷軽減のため、「市民みんなでごみ減量 20%」をスローガンに家庭ごみ収集制度を変更しました。地域の繋がりや市民の皆様のご協力により、目標値を超え、その後も 25%程度で推移しています。

また、3R のリデュース（ごみの発生抑制）という観点から、レジ袋削減を事業者との協働で取り組む、全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」を開始しました。

一方、地球温暖化対策においては、「北九州市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、市民の皆さんが主体となる具体的な施策を展開しています。

このような施策により、第 6 回「日本の環境首都コンテスト」では、本市が総合第 1 位となり、また、国連大学が進める「持続可能な開発のための教育」推進の「地域拠点」に認定されるなど、国内外の高い評価を得ています。

現在、私達の社会が抱えている環境問題は、原因が複合的であることや、地球規模であることなどから、取り組むのは大変なものと捉まえてしまいがちです。しかし、市民一人ひとりが、危機感を持ち、より良い環境・地域をつくろうとする意識を持って行動を起こし、継続する力「市民環境力」こそが、この課題を克服する原動力なのです。

その市民環境力を培い、「真の豊かさにあふれるまちを創り、未来の世代に引き継ぐ」という基本理念のもと、市民・NPO、事業者、行政等が、世界の環境首都を目指し、協働する長期的な活動ビジョン「環境首都グランド・デザイン」を平成 16 年度に策定しました。

更に、本年 8 月には新たな行政施策を総合的・体系的に進めるため、平成 23 年度までの 5 カ年にわたる「北九州市環境基本計画」の答申を北九州市環境審議会から受けました。

本計画は、「市民環境力」の強化を中心に据え、「環境首都グランド・デザイン」の実現を目指し行政として取り組むべき内容を明らかにしたものであり、市民・NPO、事業者の力を最大限に発揮しながら、本市がその要となって率先して実行していくことを示したものとなっています。

今後とも、これらの施策を通して市民・NPO、事業者と協働し、地域からの環境活動を進めてまいります。

小誌は、平成 18 年度の本市の環境の現状と環境保全の施策をまとめたものです。

市民・NPO、事業者等の皆様に広く活用され、本市の環境保全行政に対し、ご理解・ご協力いただければ幸いです。

平成 19 年 9 月